

まちだ正吉苑だより ～花いかなだ～

令和6年度 冬号

令和7年1月15日号

SHOUKICHI まちだ正吉苑

広報委員会発行

〒194-0044

町田市成瀬8-10-1

TEL 042(785)5551

FAX 042(785)5552



【謹賀新年2025】



新年おめでとうございます。今年も1年どうぞよろしくお願いたします。

元日は施設長とかわいい獅子舞が各フロアをご挨拶回りました。午後は参加できる方々と弁天公園の弁天様へ初詣に行きました。今月から待ちに待った活け花クラブも再開し、^{きくご}柳江先生のご指導の下、ご利用者様の個性あられるお正月らしい活け花が彩りを添えました。





【お誕生日色紙】特別養護老人ホームまちだ正吉苑

特養3階では、ご利用者様のお誕生日に色紙をプレゼントしています。今年度は趣向を変えて「推し活うちわ風」。お誕生日を迎えたご利用者様やご家族様から笑顔が見られています。今後も皆様の思い出に残るような誕生日のお祝いを考えていきたいと思ひます。これからお誕生日の方はお楽しみに！

おたんじょうび
おめでとう
🎁🎂🎉



【クリスマス会】デイサービスセンターまちだ正吉苑

今年も25日（水）に恒例のクリスマス会を開催いたしました。昼食のメインは“大きなフライドチキン”でしたが、皆さま「美味しいね」と完食されていました。午後からは『全力で楽しもう!』のテーマのもと手品やゲームに大盛り上がり。棒を使ってのケーキ送りはハラハラドキドキ、汗をかき大笑いしながらの大盛況でした。オシャレなケーキはかわいいランチョンマットでさらにクリスマス気分。サンタクロース&トナカイからプレゼントが手元に届くと、皆さんの笑顔が一段と輝いていました。終始、笑顔あふれる楽しい会となりました。



【アクティビティ紹介】短期入所生活介護(ショートステイ)まちだ正吉苑

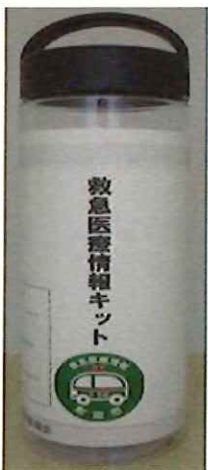
10時のお茶の時間と共に始まる朝の会、続いて行われる「はまちゃん体操」。ショートステイ恒例の午前の活動です。午後は、みんなで唱歌を歌ったり、トランプやカルタを楽しんだり、時には書道にいそんだり。臨床美術(月1回)やパワーリハビリ(月2回)にもご参加いただけます。また、個人でできる塗り絵や脳トレもご用意。その他、歩行訓練などの個別訓練も承ります。



書道



【救急医療情報キットとは? ~ご案内~】町田市南第3高齢者支援センター



「かかりつけ医」「緊急連絡先」などの救急医療情報を記入した用紙をいれた筒状の容器の事です。このキットをご自宅に保管しておくことで、救急時等に救急隊が情報を確認し、スムーズに医療機関に搬送・情報提供を行うことができます。是非ご活用ください。

お問合せは「町田市南第3高齢者支援センター」までお気軽にご相談ください。開所日：月～土曜日 午前8:30～午後5:00

所在地：町田市西成瀬2-48-23

電話番号：042-720-3801



【新任職員紹介】居宅介護支援センターまちだ正吉苑

昨年8月の法人内の移動で、町田市南第3高齢者支援センターから、まちだ正吉苑居宅介護支援チームに配属となりました香川 英昭です。趣味は音楽鑑賞、特に洋楽が好きです。コロナ禍の前はボディーボードを楽しんでいましたが、最近はお無沙汰になっています。皆さまの生活を明るく照らせるよう、お気持ちに寄り添った支援のできるケアマネージャーを目指したいと思います。よろしくお願いいたします。



『今月のスマイルさん 😊』

松永 成子 様 (特養ご利用者様)

いつも笑顔でお話しされている松永様。趣味はひとつでゴルフだそうです。雨の日でも自宅でするほどのゴルフ好き。「気合を入れすぎて、家の電球を割っちゃって怒られたよー」とよくお話ししてくださいませ。誰と話していても場を盛り上げてくださる松永様。これからもたくさんの笑顔で過ごしていただきたいです！



< 令和7年1月15日～令和7年4月14日の行事 >



特別養護老人ホーム

2月 3日(月) 節分
3月30日(日) 正吉さくら祭
※ 開花予想により4月6日(日)に変更する場合があります



デイサービスセンター

2月3日(月) 節分
2月4日(火)、6日(木)
高ヶ坂小学校交流会



お世話になっているボランティア様 (令和6年10月～12月)



- ・小竹保子様 (配膳)
- ・大木康子様 (手工芸)
- ・黄川田久枝様 (手工芸)
- ・橋本洋子様 (傾聴)
- ・関根昌子様 (音楽会)
- ・溝田有里子様 (配膳等)
- ・溝江千尋様 (傾聴)
- ・三宮江美子様 (生け花)
- ・ウクレレ演奏の皆様
- ・斎藤武司様 (太極拳)
- ・植田なほみ様 (太極拳)
- ・村上ミヨ子様 (太極拳)



< 編集後記 >



年始から早 15 日が過ぎ、本号がお手元へ届く頃には皆様も新年の挨拶を一通り済ませておられることでしょう。遅ればせながら小欄からは、一編の漢詩を以てご挨拶に代えさせていただきます。

成家三十七回春 (家庭を持って 37 回目の春)

九子九孫獻壽人 (9 人ずつの子と孫たちに長寿を祝われる)

歳酒不妨學杯遲 (最年長でお屠蘇は後回しだけど構わない)

卻誇老健一番新 (老いても元気なこの体がまた一つ新しくなったことを誇ろうじゃないか)

『学問のすすめ』で有名な福沢諭吉先生は、62 歳のお正月にこの詩を詠みました。当時の 60 代がこんな心境でいられるのは、日々が充実していた証でしょう。私たちもただ年齢を重ねたのではなく、免許証や資格証のように、今年もしっかり自分を更新できたのだと思えるようにしたいものです。

(まちだ正吉苑 広報委員会)



まちだ正吉苑アクセス



お問い合わせ先：042-785-5551